

校内職員研修計画

1 実践研究主題

家庭との連携を図りながら生徒一人一人の学習習慣を確立させるとともに、生きる力をはぐくむために基礎的・基本的な知識及び技能を習得させる指導はどうあればよいか。

2 研究の概要

(1) 今日の教育的課題から

現代社会の中では学校教育の重要性、学校を取りまく環境など大きく変化している。学習指導要領では「基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくむとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努めなければならない」としており、その際「家庭との連携を図りながら、生徒の学習習慣が確立するよう配慮しなければならない」としている。

そこで、家庭との連携を図りながら学習習慣を確立させるとともに、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させる指導の工夫が必要である。

(2) 本校の生徒に実態から

本校生徒の実態を考えた場合、生徒指導にも焦点をあてながら課題解決に取り組んでいかなければならない。学習指導要領においても「教師と生徒の信頼関係及び生徒相互の好ましい人間関係を育てるとともに生徒理解を深め、生徒が自主的に判断、行動し積極的に自己を生かしていくことができるよう、生徒指導の充実を図ること」としている。

そこで、生徒指導においては、地域、家庭との連携を図り、学校を含めた地域環境の充実させるために、以下の3点に取り組んでいこうと考えた。

- ・学校と家庭における生徒の学習環境の整備
- ・善悪を判断し、正しく行動できる生徒の育成
- ・不登校生徒をはじめ、家庭との連携

以上のことを踏まえて、生徒指導上の課題の早期発見、解決を図っていきながら、生徒の学習習慣を確立させ、知識・技能を習得させるために、本主題を設定した。

3 研究の仮説

『仮説1』

生徒の実態を把握しながら、思考力・判断力・表現力をはぐくみ、授業の充実を図ることによって、基礎的・基本的な知識及び技能を習得させることができるのではないか。

(1) 標準学力検査、基礎学力定着度調査の分析と対策

- ・各教科における分析
- ・各学年における分析
- ・教科部会での分析と対策
- ・個人研修における具体策の検討
- ・実証授業での実践

(2) 教科部会と実証授業の充実

- ・標準学力検査の分析
- ・基礎基本定着度調査の分析
- ・年間指導計画、評価基準表、観点別評価、通知表、教科実証授業計画の検討

(3) NIEを取り入れた教育活動の実践

- ・全体研修の実施と共通理解
- ・年間計画の検討
- ・実証授業における実践

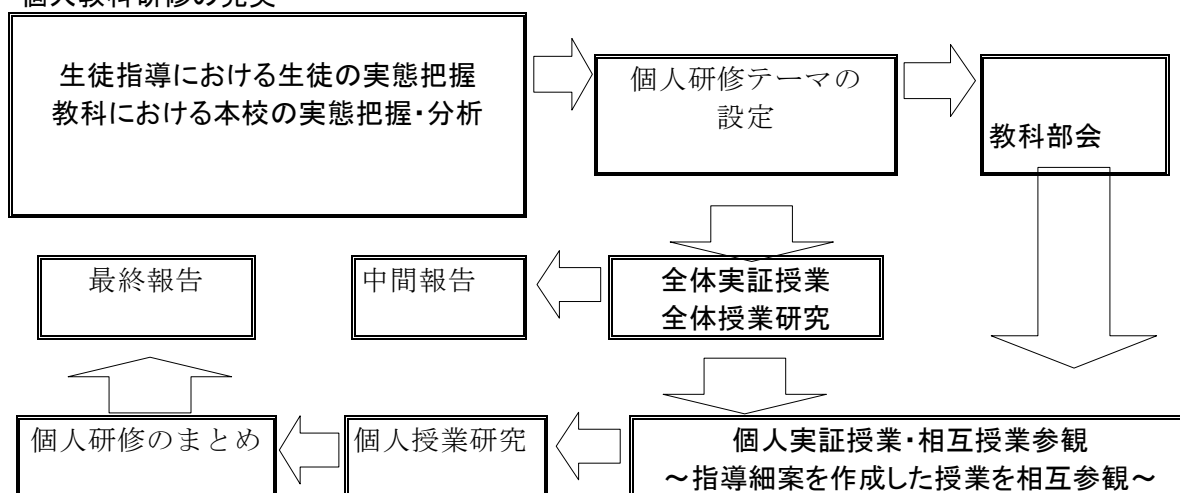
『仮説2』

家庭との連携を図りながら生徒一人一人の個に応じた指導を工夫することで、望ましい人間関係を育て、学習習慣を確立させることができるのではないか。

- (1) 生徒理解のための取組
 - ・学期はじめの事例研究会
 - ・不登校生徒及びその傾向にある生徒への指導の在り方
 - ・保護者及び各関係機関との連携
- (2) 望ましい人間関係を築く学校カウンセリングの理論と実際
 - ・心を開く教育相談(学校カウンセリング)の技能修得
 - ・問題行動事例に基づく不登校生徒及びその傾向にある生徒への指導の在り方

4 研究の構想, 具体的な手立て

(1) 個人教科研修の充実



(2) 全体研修計画

日付	研修内容	担当・係
4月 8日	・生徒理解のための事例研修及び本校の生徒指導について	生徒指導係
4月25日	・本年度の職員研修の進め方 (個人教科研修テーマの検討・年間実証授業計画) ・教育機器の活用について	職員研修係 情報教育係
5月16日	・教科部会(課題に対する具体的な取組) ～年間指導計画・評価基準表・観点別評価・通知表・教科実証授業計画～	職員研修係
6月 8日	・小中連携研修会	職員研修係
夏季休業中	・情報教育について	情報教育係
7月21日	・指導法改善研修について(標準学力検査分析)	学習指導係
8月 2日	・保健・安全指導について	保健・安全係
8月19日	・生徒指導について	生徒指導係
8月29日	・人権同和教育について	人権同和教育係
(予定)	・環境教育について	環境教育係
9月 5日	・生徒理解のための事例研修(夏休みの生徒の動向)	生徒指導係
12月19日	・平成24年度に向けての教育課程について	教務係
2月 6日	・平成23年度職員研修のまとめ	職員研修係